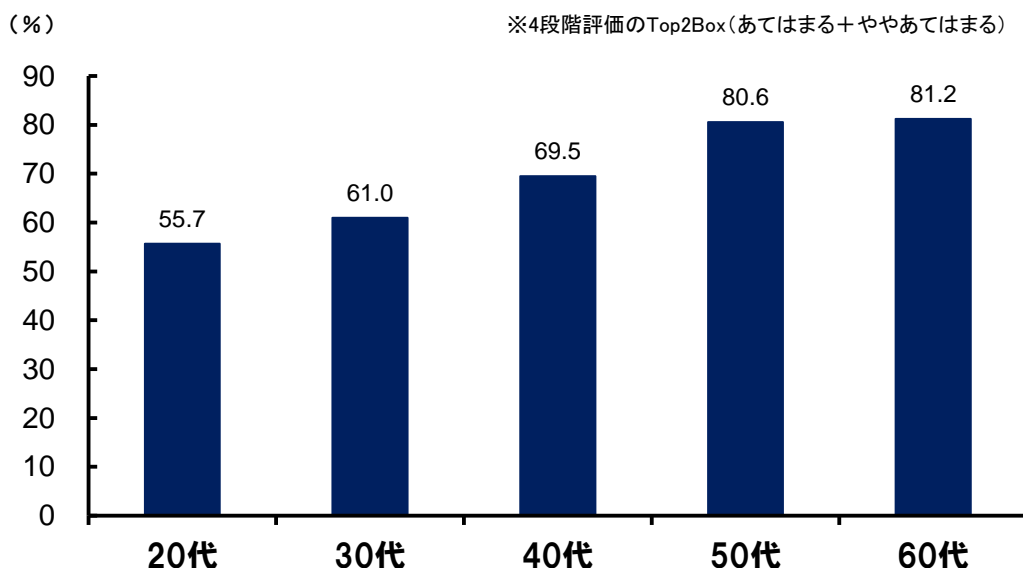


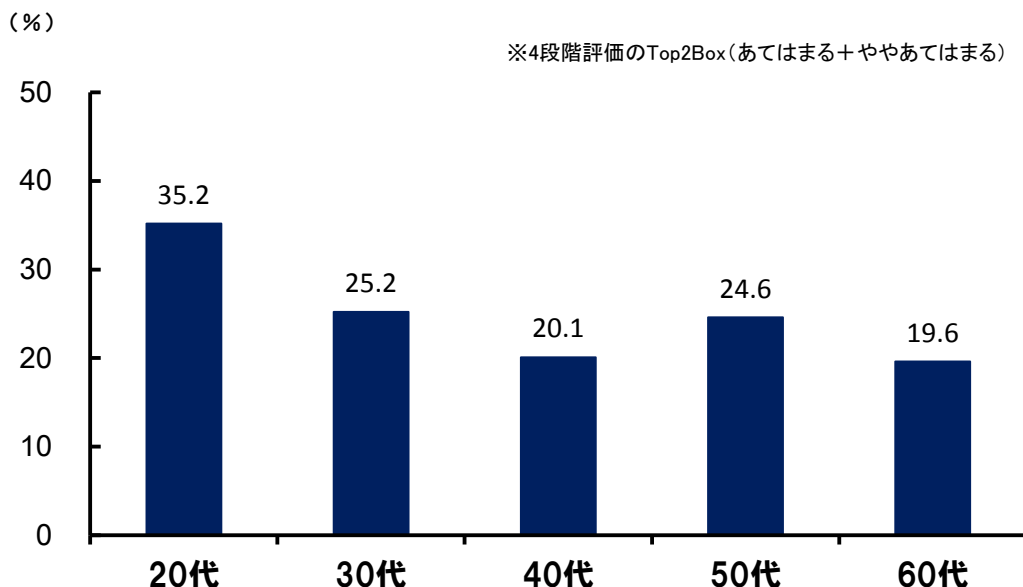
① 住まいに『新たな人間関係づくり』を求める若者 VS 『向こう三軒両隣』が大切な中高年

- ・「向こう三軒両隣とは、挨拶する仲でいたい。」と答える若年層(20代)は中高年層(50代・60代)に比べて少ない(55.7%)。
- ・一方で、「シェアハウスのように他人同士の暮らしに対して合理的」と答える若年層は、中高年層に比べて多い(35.2%)。
- ・若年層はご近所づきあいよりも、シェアハウスのように合理的でかつ、新しい人間関係を作ることができる住まいに魅力を感じている。

向こう三軒両隣とは、挨拶する仲でいたい。



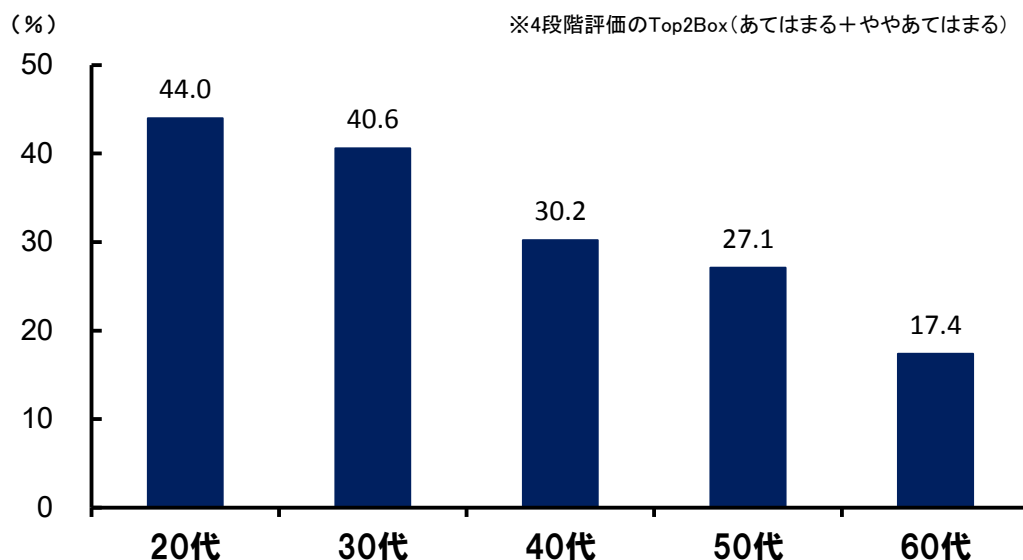
シェアハウスのように他人同士の暮らしでも、台所やトイレなどを共用するのは、合理的だと思う。



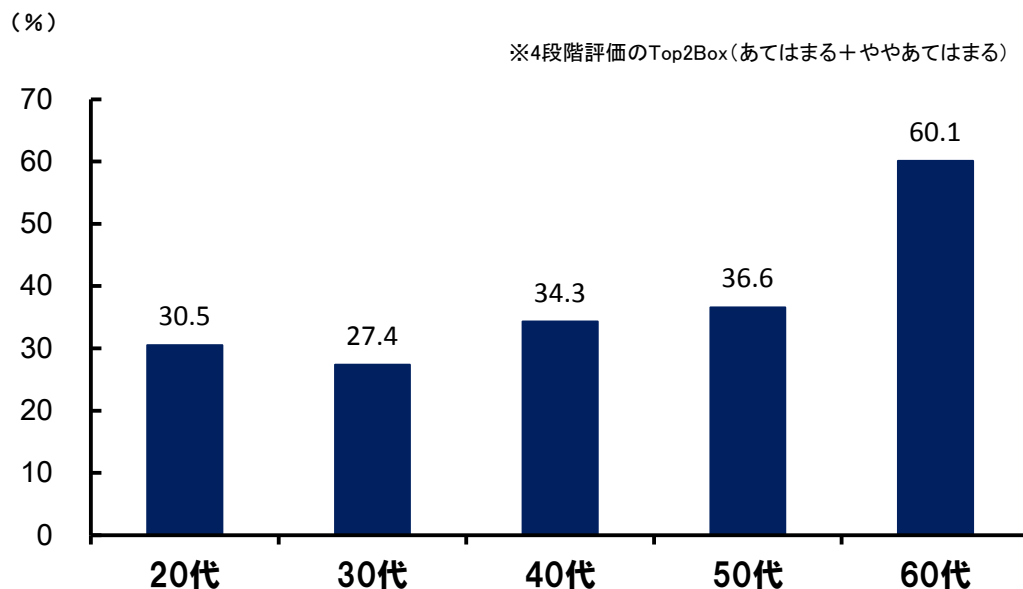
② 若年層は住まいを『プレゼンテーションツール』に VS 熟年層は住まいを『自分の癒しの場』に

- ・「自分の家に来た友人が、どう評価するかがすごく気になる」が若年層(20代)で4割超(44.0%)と高く、熟年層(60代)に比べて若年層は住まいを通じて周りからの見られ方を意識していることが伺える。
- ・一方で、熟年層は、自分の住まいに「生活の彩りを添える工夫をする」が若年層に比べて、圧倒的に高く(60.1%)、周りからの評価より自分の内面を整えるための工夫をしている。

自分の家に遊びに来た友人が、 後で自分の家をどう評価するのかすごく気になる。



家に季節の花を飾るなど、 生活に彩りを添える工夫をしている。



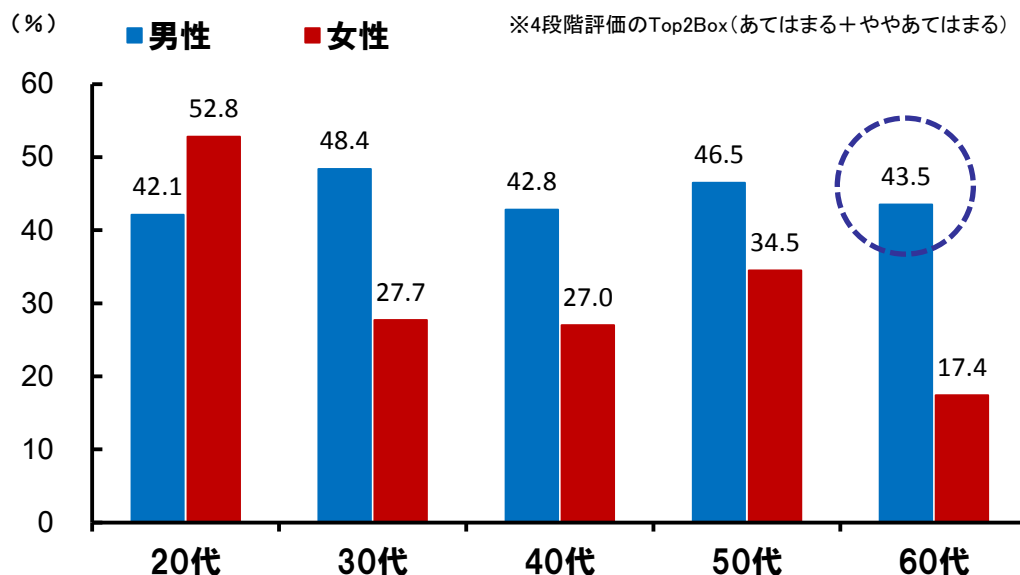
③ シニア夫婦の“終の住み処”に大きなズレ 『田舎』に住みたい夫 VS 『都会』に住みたい妻

・「終の住まい」についての考え方を男女で比較すると、中高年層において男性が田舎、女性が都会で暮らしたいと男女に差が見られる。特に、60代で男女の差が顕著となる。

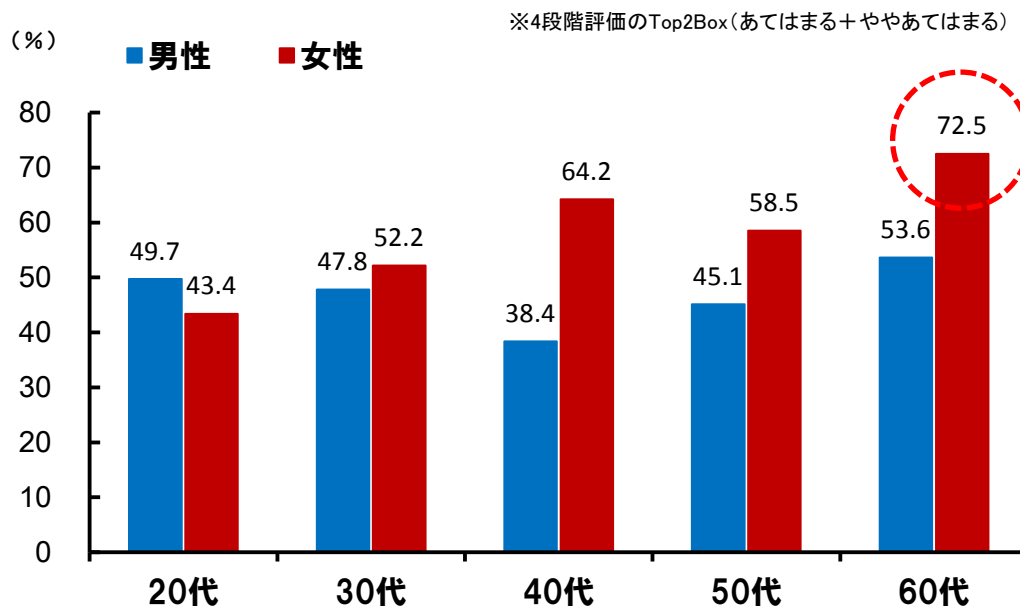
「最後は田舎で暮らしたい」: 男性60代43.5%、女性60代17.4%

「最後は都会で暮らしたい」: 男性60代53.6%、女性60代72.5%

最後は「田舎」で暮らしたい



最後は都会で暮らしたい



【調査名】

全国一斉 住み力調査

【調査対象と回収サンプル数】

20～69歳男女 1,376人

【調査エリア】

全国

【調査方法】

インターネット調査

【調査期間】

2012年9月28日(金)～9月30日(日)

【主な調査項目】

- ・住まいに関する意識(「住み力」診断設問)
- ・過去の住まい経験
- ・住まいや街との関わり方
- ・住まい選びへのこだわり度
- ・今後の住宅購入意向
- ・環境問題・省エネ住宅に対する意識・価値観
- ・生活意識・価値観
- ・家族意識

○ 概要



[すみりょく]

自分らしい住まいを選び維持する力を「住み力」と名付け、生活者の自分らしく満足のいく理想の住まい選び・住まいづくりを応援する「住み力」プロジェクト。ADK不動産プロジェクトと日本女子大学大学院住居学専攻・篠原聡子研究室の共同で、2012年4月に発足しました。

○ プロジェクトメンバー

・株式会社 アサツー ディ・ケイ 不動産プロジェクト

ハウスメーカー・大手デベロッパーなどを中心に、不動産関連のクライアントへ調査分析や戦略立案を専門的に行う、アサツーディ・ケイの社内プロジェクト。

・日本女子大学大学院住居学専攻・篠原聡子研究室

大規模集合住宅における共用部のフィールド調査を行う。対象は日本だけにとどまらず、東アジアにも及ぶ。「マンションコミュニティにおけるデザイン手法100」(野村不動産株式会社と共同研究)では、2011年グッドデザイン賞を受賞。その他、廃校リノベーション、地域再生プロジェクト、国際ワークショップ、クリエイティブフェスへの参加など、多岐にわたる活動に取り組んでいる。

—篠原聡子—

1958年千葉県生まれ。日本女子大学大学院修了後、香山アトリエを経て、空間研究所主宰。

主な作品は、大阪府営大津なぎさ住宅(1999)、ヌーベル赤羽台3,4号棟(2010)、日本女子大学付属豊明幼稚園(2011)、SHAREyaraicho(2012)など。著書に、『変わる家族と変わる住まい』(彰国社・2002)、『住まいの境界を読む』(彰国社・2008)、『おひとりハウス』(いえを伝える本シリーズ・平凡社・2011)などがある。

○ 活動内容

・「全国一斉 住み力調査」を実施 <活動第1弾>

全国の20代から60代の生活者計1,376人へ、住まいへの意識調査を実施。

・新しい住まいの実践者への「お宅訪問調査」を実施 <活動第1弾>

約30人に対して、訪問調査を実施。シェアハウス・コーポラティブハウスなど多様な住居形態を調査。

・11月18日を「いい家の日※」に制定 <活動第2弾> ※日本記念日協会認定

自分の理想の住まいを考える契機とするために制定。日付は、11と18で「いい(11)いえ(18)」と読む語呂合わせから。

・「住み力」WEBサイトを「いい家の日」にオープン <活動第2弾>

※次頁にてご紹介。

○ 「住み力」を構成する3要素

本プロジェクトでは「住み力」を、住まいを選び維持するために重要な3つのSによって定義しています。



自分の「住み力」を知ることで、自分が住まいにどのような価値観を持っているのか、そしてどのSを伸ばしていくべきかが分かります。

○ 概要

「住み力」プロジェクトでは、「いい家の日(11月18日)」に合わせて「住み力」のWEBサイトをオープンしました。サイト内では、コンテンツ「住み力診断」を通して、45問の設問に答えるだけで自分の「住み力」の高さ(点数)とタイプを知ることができます。

・「住み力」WEBサイト URL : <http://www.sumiryoku.jp/>

○ 10の住み力タイプ

「住み力診断」に答えると、「住み力」の点数と傾向から、自分が次の10タイプのどれに該当するのかが分かります。その結果は、facebookやtwitterを通して友人や知り合いと共有することができます。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみかみ】
住み神

人や街としっかりつながり、自分だけの強くないかわりもある。さらには、リスクにも十分すぎるほど備えている・・・。
住まいへのあらゆる意識を高いレベルで保つあなたは、みんなを住み力アップへと導く「住み神」です！

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみおう】
住み王

“人や街とのつながり”、“自分だけのこだわり”、“リスクへの備え”・・・。
住まいへのあらゆる意識がバランス良く高いあなたは、選ばれし者「住み王」です！

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみきそく】
住み貴族

地域にはオープンマインドでありつつ、自分の価値観も大切にします。
あなたは、そんな優雅な「住み貴族」です！

でも、環境や安全への意識はあまり高くないのが、玉に瑕。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみそうりょ】
住み僧侶

地域にしっかりと関わりつつも、住まいの環境や安全への意識も高い。あなたは、住まいの和と平穏を求める「住み僧侶」です！

でも、自分の価値観を表に出さないのが、長所であり短所だったりします・・・。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみはかせ】
住み博士

自分の価値観もしっかり持ちつつ、住まいの環境や安全についての知識も豊富。あなたはこだわり＆博学の「住み博士」です！

でも、地域とはあまり関わりを持ちたくない孤高の人の一面も。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみてんしゅ】
住み店主

人とのつながりをとても大事にする。あなたは、ご近所さんに愛される「住み店主」です！

でも、自分のこだわりも、安全への意識も薄かったりします。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみやくにん】
住み役人

住まいの安全への意識はばっちり。あなたは、知識が豊富なしっかり者「住み役人」です！

でも、住まいへの自分のこだわりがあまりなく、ご近所さんとの関係を疎かにしてしまう一面も。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみあーていすと】
住みアーティスト

住まいへのこだわりだけは譲れない。あなたは、自分の思うままに行動する「住みアーティスト」です！

でも、自分のこだわりが強すぎてご近所さんとの関係や、安全への意識が薄かったりします。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみしよん】
住み庶民

これといった特徴のないあなたは・・・普通の人「住み庶民」です！

人とのコミュニケーション、自分らしい住まい、環境への配慮・・・どれも、特に興味はなかったりします。

【住み力】
高 ●●●●●●●●●● 低

【すみにと】
住みニート

住まいへの意識が全体的に低いあなたは・・・ごめんなさい！
住まいに無気力な「住みニート」です。

人とあまり関わろうとせず、住まいへの思いも薄く、リスクヘッジもあまりしない。ちょっと心配です・・・。